

名古屋大学高等教育研究センター 第64回招聘セミナー

カリフォルニア州立大学における授業改善支援

CSUS(California State University, Sacramento)を事例として

筆内 美砂 氏

前 名古屋大学留学生センター 助教

講演要旨

英語で魅力ある講義を提供するために必要な要素は、単に「語学力」に限定されない。教員の発声法、シラバスや資料の使い方、またコンピューターの技術を活かした授業形態など、さまざまな創意工夫が大切となる。本セッションではCSUS(California State University, Sacramento)の教員がどのように教育に取り組み、学生を惹きつける授業を行っているかを紹介する。また、CSUSの事例を踏まえて、特に日本の大学で課題となりうる点を参加者とともに検討したい。

ミネソタ大学における大学教員養成プログラム

“Teaching in Higher Education”

高木 ひとみ 氏

名古屋大学留学生相談室 講師

講演要旨

ミネソタ大学で開講されている大学教員養成プログラムのひとつである“Teaching in Higher Education”の授業を紹介する。この授業では大学教員になるために必要な教授法、授業やシラバスのデザイン方法、授業観察や実習、就職のためのポートフォリオ作成などの内容だけでなく、教育活動における内省力が身に付くよう工夫されている点が特徴である。2004年秋学期に実際に受講した事例紹介を通して、日本の大学における大学教員養成プログラムへの応用について検討したい。

日時: 2007年8月3日(金) 16:00~18:00

場所: 名古屋大学文系総合館7階 オープンホール

お問い合わせ: 夏目達也(052-789-5693) natsume@cshe.nagoya-u.ac.jp